

# 薩摩川内市温泉給湯事業経営戦略【概要】

## 温泉給湯事業の現状と課題

### <分湯事業>

現在、安定して温泉を供給できる湯量はあるが、施設・設備の老朽化に伴う更新需要の増大の一方で、人口減に伴う使用料の減収が見込まれる。

### <市営公衆浴場>

民間代替性の高い施設であり、更なる民間活用の検討が求められている。

## 経営の基本方針

公共の福祉の増進と観光振興に重要な役割を担っている。

○分湯事業：定住促進につながる定住型分譲住宅等への温泉供給を継続

○市営公衆浴場：交流人口の増加に寄与する施設として民間活用を検討

- ・計画的な更新による安定供給
- ・経費縮減による経営基盤強化
- ・管理計画の見直しによる検討等により、当分の間は市の公営企業として実施

## 参考

- ・泉源数：16泉源
- ・送配湯管：L=16,927m  
(うち更新済：L=3,755m) 22.2%
- ・入来温泉湯之山館（H27.4～）

## 投資・財政計画（10年計画）

### 投資試算

- ・優先度を踏まえた更新時期の平準化
- ・スパックダウンやダウンサイジングも検討

### 収支 均衡



### 財源試算

- ・管理経費は料金収入で賄える
- ・更新経費の一部に一般会計繰入金充当

## 効率化・経営健全化の取組

**定員・給与** 1人の人件費支弁を継続しつつ効率的な業務体制を構築

**分湯事業** 泉源の湯量の減少、枯渇等により使用できなくなった場合は、当該施設に係る事業の廃止を検討

**市営公衆浴場** 観光振興の観点から、更なる民間活用について検討

**分湯使用料** 料金体系については受益者負担を原則としながらも、長期的な視野に立ち検討

※ スパックダウンとは、既存施設・設備の性能の合理化

※ ダウンサイジングとは、既存施設・設備の廃止・統合